

2016.1

事務局（地独）京都市産業技術研究所 デザインチーム（担当:比嘉,竹浪,木戸）
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6170(代表)

No.4 京都工芸研究会便り

1. 設立記念「京都の工芸・逸品」展 無事終了いたしました。

今回の展覧会には45会員の参加,53作品の出品で開催いたしました。アートスペース余花庵（寺町御池上ル）のご協力により,設立記念にふさわしく,会員それぞれの逸品の魅力を引き立てる展示となりました。竹工芸,金属工芸,漆芸,内装工芸,香,人形,陶磁器,仏具,版画等の京都の多彩な工芸品に加え,竹工芸用の道具や,漆液採取の道具の展示もしていただき,異業種交流という研究会の特色も出すことができました。

展覧会期間が5日間,時間は10時から20時までと,日時ともに長丁場でしたが,人通りの多い場所である為か,国内外からの観光客の方々も立ち寄って見ていただくことも多く,会場での接客やアンケートのお願い等,会員の方々は来場者と積極的に交流しておられました。

三研究会統合後初めての事業でもあった為,会員同士での交流,名刺交換の場ともなりました。

会場アンケートから「多種多様な作品が一度に拝見する事ができてまた見応えもありとても良い展示だと思います。」(20代女性),「若い工芸界をめざす学生さんにとっても貴重な機会」(30代女性)といったご意見をいただきました。

これからの研究会活動のスタートとして意義ある展覧会となりました。



京都工芸研究会設立記念「京都の工芸・逸品」展
○会場 アートスペース余花庵(寺町御池上ル)
○会期 2015年11月10日(火)-15日(日)

◆「オトナの京もの」試作品展示

新商品開発事業「オトナの京もの」の第一弾の試作品として,大家漆工房と中川竹材店のコラボで「竹切り子バングル」4点(右写真)を設立記念展会場に展示しました。

「竹切り子」は大家漆工房のデザインで,竹を切り子風にかットした小さなピースを組み合わせることで造形していくアイデアです。これをもとに中川竹材店の協力で「環」をイメージした形状でシンプルなバングル(腕輪)が出来ました。竹皮の素朴な色と風合いに漆の加飾がさまざまに組み合わせられた実験的なデザインです。これからの展開にご期待ください。



新商品開発事業「オトナの京もの」では3つのカテゴリ「変化」「技術」「伝統」から、「環(わ)」をお題としたアイデア展開により活動しております。「オトナの京もの」事業内容やご参加希望など,お気軽に事務局までお問い合わせください。

2. 京都工芸研究会設立記念誌 「京都の工芸」 できました。

「三研究会のこれまで」、そして「新生・京都工芸研究会のこれから」をテーマに、工芸研究会、金属工芸研究会、竹工芸研究会のそれぞれの活動を写真を中心にまとめました。

三研究会はそれぞれ毎年のように展示会を開催していましたが、モノクロからカラーに変わるその展示写真には時代の雰囲気を感じられます。また「こんちく衆」や「遊をテーマにした三事業」など、工芸の伝統を守りながらも、コラボによる新しい工芸品開発の取組が非常に活発であったことが伺えます。記念誌によりこれまでの活動実績をあらためて振り返り、参考にしながら、今後の研究会事業を発展させていければと存じます。お手元に保管いただくとともに研究会PRなどにぜひご活用ください。記念誌編集にご協力くださいました会員の皆様を始め、関係者の方々にはこの場をかりて深くお礼申し上げます。



京都工芸研究会設立記念誌
「京都の工芸」
A4,オールカラー,24P,会員名簿付き,
非売品

* 記念誌の他、研究会紹介用リーフレット「京都の工芸」も作成しました。残部ありますので、イベント等で活用頂ける方はご連絡ください。

事務局より

- 2016年1~2月の主な予定
 - 1月中旬 18:00~20:00竹編組勉強会(参加随時) * 予定
 - 1/28(木) 15:00~第6回委員会
 - 2/19(木)-21(日) 竹編組勉強会発表会(名称未定)
(於 京都伝統産業ふれあい館イベントルーム)

★今年度会費納入のお願い
研究会活動は会員皆様の会費で運営されております。まだ未納の方は早めの納入をお願いいたします。m(__ __)m

★今年度の講演会・講習会・見学会等,企画検討中です。
この方にお話を聞いてみたい,ここを見学してみたい等,ぜひ,
ご意見,ご提案ください。お待ちしております。

つぶやいていいですか。

4月に産技研に入所してから、8カ月が経ちました。日々、業務の中で色々な角度から京都の工芸に触れ、新鮮な発見の毎日を送っています。そんな私ですが、毎年この時期に「デザイン職」として家族から多大なプレッシャーを与えられるのが「年賀状」です。アイデア出しに始まり(まだこの段階)、写真撮影やレイアウト、そして出力段階でプリンターインクの買い忘れに気づいて買いに走ったり…今年も最後まで慌ただしくなりそうです。(き)

つぶやいていいですか。その2

三研究会が統合した今年、設立記念展、製品開発事業、記念誌作成とさまざまな用事のための事務局のFAX攻勢(笑)で会員のみなさまが辟易?されてないか心配しています。2016年も今年同様頑張っていきますので、懲りずによくお願いいたします。ご意見等のご返信もお待ちしております。(ひ)